

～サッカーのみかた～10月号

第6回目～サッカーのみかた～を開催しました。

～サッカーのみかた（見方？味方？）～はサッカーをもっと楽しむと同時に審判に興味を持っていただこうと思い協議規則や審判の思い等の話す場として開催しております。6回目は3級上申希望者の方を中心に9名の方に参加いただきました。



＜講義＞

上申研修会の反省を行いました。

前は“FK, GK, PK”時の**ポジショニング**（壁・選手を監視しやすい位置取）や**シグナルの明確化**（静止してフラッグで方向を指す）等を行いました。今回は**“事実の見極め”**について講義を行いました。

＜講義＞

選手が接触し倒れた現象だけをみて思わず笛を吹いてしまった経験はありませんか。倒れたからファール？サッカー試合の中で接触することはよくあることです。倒れた**“事実”**だけを見るのではなく、なぜ倒れたのか**“見極める”**ことが重要です。ポイントは**ボールに対する選手の意図・チャレンジの方法・距離**や**タイミング・接触の場所・影響度**。これらが正しく行われていれば正当であり、不用意・無謀・過剰な力で行われた場合はファールとなります。今回はDVDで実際に26の映像見ながら参加者全員で回答し、なぜそのような判定をしたのかみんな議論しました。



＜あとかき＞

12条（直接71-キックの7項目）では主審が判断することになっております。しかし、主審が変わるたびに判定基準が変わったのでは選手にも戸惑いがあると思いますので区内でできるだけ統一した基準で行っていきたいと思います。実際に26の同じ映像を見ても参加者全て同じ判定をしたことはほとんどなかったです。それぞれの考え方や見え方が違います。

最後はフットサルのゲームを長めに行い、主審は隣でフットサル新規の審判講習会を行っていたので参加者に行って頂きました。

シーズンを振り返り何か疑問に思ったことはありませんか？皆さんの声に応えられるよう内容を充実させたいと思いますので“サッカーのみかた”にぜひ足を運んでください。

＜お知らせ＞

次回は**11月28日（月）19時** **ダンパラ研修施設**で開催いたします。場所等詳細は室蘭地区サッカー協会HPに掲載しますので確認してください。